

WACATE Magazine Vol.30 満員御礼!

🌿ご挨拶🌿

WACATE-Magazine をご覧の皆様、こんにちは。
WACATE-Magazine 編集部です。



すでに梅雨入りをして若干天気も
どんよりしていますが、晴れると暑いですね。

今年もまた暑くなりそうですね。
夏の三浦はさらに熱くなりそうです！

さあ、WACATE 2011 夏の募集が開始されました！

編集部員もドキドキワクワクしながらの
WACATE-Magazine vol.30、
はじまるよー！

🌿お品書き🌿

【特集】

さあて皆さんお待ちかね！
直前ですよっ！WACATE 2011 夏！

【コラム】

ワカテにキク。

【雑談すべしやる】

てすバナ語るっcha!

【リレーコラム】

Software Test Topics

【連載】

ミュージカルに恋して

【リレーコラム】

WACATE-Blog 出張所

【連載】

源太郎のソフトウェアテスト占い

【連載】

今月のSTAR☆

【あとがき】

🌿WACATE Topics🌿

WACATE 2011 夏が満員御礼になりました！
皆さんのアツイ想いが伝わってきました！

WACATE 2011 夏・前夜祭募集中ですよ！
<http://kokucheese.com/event/index/11938/>

現在鋭意準備中♪

直前ですよっ! WACATE 2011夏!

◆◆◆ 間も無く夏ですよ! ◆◆◆

いやいやいやいや。
どーですか! 皆さん!
イカがお過ごしですか! いやいや、いかがお過ごしですか!?

そろそろやってきますよ! アツい夏が!
そう、「WACATE 2011 夏」が!

…とゆーワケで各実行委員もどンドンテンションが上がり、皆さんを迎えるべく準備をちやくちやくと進めております!

今回も満員御礼! となり、アツく語れるワークショップになること請け合いです!

では恒例の各セッションの紹介です!!!

◆おーぶにんぐ

こんにちは。
オープニングセッション担当の澤田です!

メインセッション前の心構えとして、
改めて「WACATE の過ごし方」について説明させていただきます。

2日間楽しんでいただくためにも
注意事項は聞き洩らさないくださいね!

宜しくお願い致します。
(さわちよ)

◆ぼじべ

ポジペ(ポジションペーパーの略)セッション担当の上田ですっ

ポジペセッションはお互い初めましてのみなさんが自己紹介をしてみましょうりというセッションになります。

「急に自己紹介なんて、、、何を話せばいいの??」

でも、大丈夫ですっ!!
ポジションペーパーがありますっ!!!
ポジションペーパーに書いたことを使って、自己紹介しちゃいませよー!!
(うえだ)

◆わーくしょっぷ

メインワークショップは「インシデントレポート改善」。「インシデントレポート」よりも「バグレポート」とか「不具合票」などといった言葉のほうが馴染みがあるかもしれません。テスト実行の経験がある方ならどなたでも作成経験があるのではないのでしょうか。(もしかしたらメモ程度の報告だけ、という方もいらっしゃるのかなあ。。。)それだけに、議論が盛り上がること間違いなし! 盛り上がりすぎて時間オーバーにならないよう要注意ですぞっ!

実は、以前からインシデントレポートをネタにしたセッションをやりたいねえ、という話は何度も出ていましたが・・・「でもそれって・・・元ネタ(テスト対象)が無いと難しくない?」という結論で行き詰って終わってました^^;

がっ!!!

今回なんと!!!

テスト対象つくっちゃいました☆ ぱちぱちぱちwww

仕様書作って、リリースも重ねて、ホントにプチプロジェクトですw

そしてまたこの開発チームがイケメン揃いときたもんだ♪ふっふっふ^-^

作成しているテスト対象や演習内容については当日のお楽しみでっす!

予習についてですが、**インシデントレポートに関する基本的なことは参考書籍などを読んで予習をしてきてください。**また、同僚の方々とインシデントレポート作成における悩みとか工夫点、インシデントレポートに求められること、などを話し合ってみるのもよいと思います。

当日は班の皆さんで、アツい議論をお楽しみくださいね☆

今年はどうな発表が行われるのか、今からとても楽しみですo^-^o

(ばんばん)

◆でいなー

みなさん、こんばんは。みんなに弄られることが半分仕事になっている、宴会部長ことやまさき☆たかしです。もはや恒例となっているディナーセッション。今回も盛りだくさんの内容でお送りしていきたいと思います。おいしい料理とお酒に舌鼓を打ちつつ、大いに楽しんでくださいね♪一部の方には、おかしな方向で異様に期待されていたりするのですが、まあ、ぶっちゃけ原稿執筆時点ではノープランですので、あしからず。自分明らかに肥えたもので…(;´Д`)

(スター☆)

◆分科会

WACATE といえば朝からみんなでガッツリとお勉強。そのぶん、夜はまったりと癒される、そんなことなかった……。夜もワカテの皆さん、ベテランの皆さん交えて語り合うのが WACATE 流。今回も一日目の夕食後に伝統の分科会を開催します！毎回、熱い話題で伝説を作ってきた分科会。今回もテスト話を酒のつまみに盛り上がること間違いなし。当日は、興味のあるテーマの分科会を選んで、お気軽にご参加くださいね！

(かわにし)

◆モーニングセッション

我がアニキ、細川さんが今回も WACATE にやってくる！ということで、欠陥の話をしていただき、二日目の朝、目覚ましをしていただくかと思えます！何より気になるのは、プレゼンテーションですね。今回はどんなモノを魅せてくれるのか！今から実行委員も楽しみにしています！

(コヤマン)

◆くろーじんぐ

今回のワークショップのクロージングは奈良先端技術大学院大学の森崎修司先生。森崎先生はそのさまざまな活動の中で、バグ票についても関心を持たれており、[ITmedia の先生のブログ](#)の中でもいくつかエントリとして取り上げられています。

森崎先生から、皆さんへメッセージを預かって参りましたので、お届けします！

=====

家に帰るまでが遠足、バグはどこまで？

遠足が家に帰るまでであるように、バグも家に帰るまでです。

あれ？

遠足が家に帰るまでであるように、バグも対応が決まらなないと(多くの場合修正されない)発見の意味がありません。テストエンジニアにはバグを見つける技術とそれを伝える技術の両方が必要になります。伝える技術はコミュニケーションの技術といえます。

でも、そんなに重要なのでしょうか？

「開発組織のコミュニケーションの構造が製品の設計に制約を与える」1968年にM. Conway氏が発表し、いくつかの調査レポートや論文でコミュニケーションや組織の構造がソフトウェアの品質や設計に影響を与えることが報告されています。不具合予測においてソフトウェア自体の情報(プロダクトメトリクス)を用いるよりも組織やコミュニケーションの情報を使ったほうがよりよい予測結果が得られたという報告もあります。

バグ報告(インシデントレポート)もソフトウェア開発における主要なコミュニケーションの一つです。事実を報告しながら依頼をしなければならぬため比較的難しい部類のコミュニケーションですが、**集中して演習したり議論したりする場はなかなかないのが現状です。**

ワークショップに参加してインシデントレポートへの理解を深めてみませんか？

普段の会社組織では必ずしもフラットな意見交換ができるとは限らない方もいらっしゃると思います。また、他組織がどうなのかを知りたい方もいると思います。フラットな関係で意見交換ができるようにし、次世代を担う皆さんが次世代の「あるべき姿」を考えることができる場にしたいと思っています。

私の担当するセッションでも全員で一緒に考えることを主眼に置きインタラクティブに進めたいと思います。原理・原則をみつめながら、様々な側面を参加者の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。また、バグ報告を調査した論文やコミュニケーションを調査した論文を紹介し、議論のきっかけにしたいと思います。

=====

議論の後に待つ、森崎先生からのセッションはきっと皆さんの心に残るでしょう！

えうご期待！！！！！！

書いた人：WACATE-Magazine 編集部

わがカテにきく 第29回 『歯車』

石井 伯和 (いしい のりかつ) さん

私は、WACATE2010 冬が終るや否や、勉強会開催を、上司へ提案した。河野さんの実習内容からテストや品質の必要性というものを、再認識する啓発効果を、狙ったものだ。私の所属する会社は……みなコーディングに、夢中なのだ。

チーム別や分担作業の要素は、外したくなかった。……それに、できれば会社単位で動きたい。そこで私は、技術者だけでなく全社員参加可能として、3ヶ月後の開催予定で10人集めて欲しいと上司に、提案した。

「無理だね。みんな忙しいから。そんなに、集まらないよ。3人ぐらいじゃダメかい？」

こんな言葉が返ってきた。社長とも話したと同じ言葉が返ってきた。でも納得できなかった。試しに、忘年会で技術者と直接話すと『なにそれ、すごいな……』と、みなそう言う。やってみたいかと尋ねれば、やってみたいと言う。でも実現できなかった。本当のところは、平 때가忙しすぎて、ぐったりしているようだ。「土日は、やっぱり何も考えずゆっくり休みたいよ」という言葉もあった。もう1つ。上司からは、こんな言葉もあった。

「それで、会社にとって、どういうメリットがあるの？ 何か資格に有利に働くの？」

私の会社は、自社開発もやっているが業務委託も多々受けているため基本リソース貸しの考えだ。だから、意識向上よりも客先へ売り込む材料が欲しい。資格やら何やらと経歴を着飾らせたほうが魅力があるのは、間違いない。テスト技術者の資格認定というのは、もちろんあるのだけれども。私は、まず社員がテストを「必要だね」と体で認識させることを、ゴールとしていた。そのことを、素直に伝えると……渋い顔が見て取れた。私が有利性を、強く主張できなかった事には、理由があるのだが、最後にまとめる。



著者近影

1981 生、コンピュータへの興味は、MSX 付属の電子ペンから。VC++や DirectX を、振り回したいと思っていたのに、何故かたどり着いた先は、業務委託たっぷりの何でも屋の会社。その中の 1%の存在。

それと私の経験上、職務上、その経歴というのも「設計経験」「コーディング経験」がまだまだ重視されている。いくつもの会社の面接、面談、それと若干の営業風景を見てきたが、「品質」という言葉をほとんど聞いたことがない。この傾向は、WEB システムには、顕著のようにも感覚的だが思える。「何を作ったか」、「何を設計したか」、「何人体制で動いたか」が基本軸となっていた。でもこちらから『テストエンジニアのワークショップに、参加しはじめました』と明かすと一瞬驚きも見せるが、「どんな感じだった」、「面白いことやってるね」と話が弾む。だから需要は、強くあるはずだ。

残念ながら私の所属する会社は、まだ「書くことに専念する」という意識に、留まっている。だからテスト技術や、品質についての行動は、あまり評価されないのが消極的になる。例えばテスト技術者認定資格。設計実装が職務のチームには、評価対象から外されている。ここは、やはり会社の——正しくは、お偉いさんの——意識を、変えていただく必要がある。それと同時に、会社からの評価が得られなくても必要であれば消極的である理由は、無い。……と。今のところ他の社員に、チマチマ声をかけている。会社が求めれば、何時でもすぐに、動き出せるように。

ぽじゃま★パーティー

てすバナ語るっcha

■「そういえば、投稿戦士以外に

WACATE ファンの発信方法ってないよね・・・」

「ないなら創ってしまえばいいじゃない！」

↑ということっ☆

てすバナチャットルームを月1回開設していま～す☆

WACATE-Magazine の企画として、投稿戦士以外のカタチで読者など WACATE ファンが関われるイベントとかできないかなあ？・・・という案から、チャットで座談会(分科会出張所的なもの)を開催したらいいんじゃないかなあ・・・という話になりました。その都度テーマを決めてみんなで語り合おう！という企画です。チャットの内容は編集したうえで Magazine に掲載します！

■ルールは今のところ以下のとおりだよ！

其の壱：

チャットの内容は WACATE-Magazine に掲載される前提です。したがってログを保存させていただきます。もしオフレコの発言がありましたら、その際に明確にしてください！なお、全部オフレコってというのは受け付けませんっ！！www

其の弐：

テーマに沿った発言をしよう！（できるだけ・・・）毎回テーマを決めます。そのテーマから大きく外れないようにご協力願います。オーナーが沈黙し始めたらそれは脱線復旧のチャンスを狙っていると察しましょうwww

其の参：

悪口や誹謗中傷の類はダメよ！（冗談は、明らかにネタってわかるようにね♪）

其の肆：

対話とか論議を楽しみましょう。ROM だけ、ひたすら語り続ける、といった一方通行にならないように心がけましょう♪

今回の開催日時(まあ夜です。パジャマパーティーですからw)、テーマ、申し込み方法はこのコーナーの最後に記載します。

オンラインという特性を生かして、各地のテスト大好きな仲間と繋がりたいと思います。皆様の参加をお待ちしております～す！！

今回はすでに 2 時間で終わらせるということを決め、目標 3 時間ということを進めました・・・w

そして今回のテーマは・・・参加者からのリクエスト♪ただ、本人が登場したのは・・・

以下ご覧あれ～☆

■第5回♪

本題突入時刻 [22:09:04]

しんすくさん、mayonezudaiou さん、ものものさん、つるねさん、オウミさん、編集部コヤマン&ばんばん、の 7 名で開始！

コヤマン：では早速本日のお題ですが、告知どおり「学んだことをどうやって社内に展開するか？」をメインテーマとします

まず、どういう風に議論していこうか？ということであーだこーだ話し合っって・・・社内展開における「壁」があると思うが、それについて「壁+工夫したこと」もしくは「壁+・・・その解決方法が見つからないのでどうしたらいい？」といったことをお話していただくことに。

まずはしんすくさんにお話をさせていただきました。内容は社内展開というより社内教育における壁の話になりましたが、グッドな工夫が語られましたので、載せちゃいまーす♪

ばんばん：では、まずはしんすくさんにお話をいただきましようか？

コヤマン：うんうん

しんすく(け)さん：あいー

しんすく(け)さん：「オペレータさんにテスト自動化脳を養う」

コヤマン：？@@@：

しんすく(け)さん：あ、社外勉強会の展開、ではないですね、これ。自分が学んだこと、というかもともと知ってることを、伝えたときの話です。

コヤマン：いや、養ってもらう、のが壁なのかテーマなのかかわからない^^；

しんすく(け)さん：テーマです。これアリですか？

mayonezudaiou：社外勉強会で学んだ自動化について展開と考えれば。。。

コヤマン：f m オペレータさんにテスト自動化について考えてもらうようにする勉強会を開いたのはわかった。壁と工夫は？@@

しんすく(け)さん：壁：オペレータさんに自動化に必要な知識が全くない

コヤマン：f m f m

mayonezudaiou：予備知識なしの場合、最初のとっかかりをどうするのか？というのがポイント？

しんすく(け)さん：いえす

しんすく(け)さん：必要な知識：繰り返しをコンピュータにやらせる、という概念そのもの。そしてそのやり方。

どこを自動化すると効果が高いか、を一番知っているのはオペレータさんだと思うのですが、彼らにはどういうところが自動化できるのかという「勘所」がない。というジレ

ンマを解決すべく。

mayonezudaiou: 自動化のメリットは伝えやすくて、やり方は技術的に結構ハードル高いものもあるので、そのスタート地点を間違えると、自動化=難しい=メリットよりもデメリットが大きい

となるかも。

コヤマン: 壁の要素が色々あるんだね。たぶん。勘所、とメリットに感じてもらうこと、か。それらをどう工夫したのかしらん?

しんすく(け)さん: けっこうナーバスな問題もふくんであり・・・ナーバスな問題: **自動化すると彼らの手作業が減る** = 時給が減る。そんなこと?と思うかも知れませんが、彼らの立場に立てばすんごい深刻です。

コヤマン: うんうんw

mayonezudaiou: わかる気もします。。

しんすく(け)さん: なので、これを普及するにあたって、

1.モチベーションの問題、2.技術面の問題の2点からアプローチしました。

まず、1.モチベーションの問題

端的にいうと、「履歴書に書けるよこの技術」と熱く語った。他の会社に行く時にこのスキルはとても光る。もっといい待遇で働けるようになるよー。まじまじ。(中略)もしそうならぜひあたらしい人に教えてあげてね。教えることで貴方達の知識もより強固になる。

オウミ: なるほど! それはよいかも。

コヤマン: うんうん

rin2_: なるほど。。

オウミ: 嘘っぽくないというか、スキルの種類が増えるわけだから信憑性もありますね。

mayonezudaiou: それはいいかも >履歴書に書ける→単価交渉で有利

つるね: 会社が好きな正社員には使えない技ですねw

しんすく(け)さん: 社員には、次の転職や社内での目標設定に使いますw

mayonezudaiou: 期の個人目標とかに書ける>テスト自動化

しんすく(け)さん: けっこう社員にも有効で、自動化ってものすごい定量的に成果出ますよ。もう、そろもうわっかかりやすく。全テストの20%を自動化し、「実行」のコストをここまで下げましたって言えるよ?と。

でも、注意が必要で「実行」のコストしか下がらない。つくるコストはむしろ少し上がる。から、計画にちゃんと含めてコストに見合った適用をしてね。と添えないとだめです。みなさんには釈迦に説法ですね。

コヤマン: w

しんすく(け)さん: 1回しかやらないテスト自動化すなっ!! 毎日やるテストは死ぬ気で自動化しろっ! です。

mayonezudaiou: 自動化の場合エビデンスをうまく残せて、テストの再現性があればうれしいですよ。。

それに1回しかしないテストって少ないと思う。。

しんすく(け)さん: まとめると。オペレータさんには待遇の向上、社員には目標設定を持ちかけます。

オウミ: **学ぶことによる、相手へのメリットをちゃんと伝えるって、大きそうですね。**

しんすく(け)さん: いえす

しんすく(け)さん: だいたいこれでキラキラしてくる
オウミ: キラキラ!

コヤマン: fm. 技術面とかの問題は?

しんすく(け)さん: 次の課題は、自動化の技術。

具体的には、そのプロジェクトにおいては、スクリプティングですね。主にテストデータの自動生成。

あ、テストシナリオのスクリプティングではないです。テストデータを生成するためのスクリプト言語の習得。

コヤマン: fm

しんすく(け)さん: で。2週間、毎朝1時間使って、phpを教えました。

このとき、肝心なのが

1日目で超原則の部分と、実行環境の整備をやったら

2日目でいきなりファイル出力を教える、ことですか

なぜか

成果が目で見えるから。

ここまで自力で出来れば、ゴールは彼ら自身が知っている(あのテストにつかうデータ1万個とかをこれでサクサク作りたい!)ので、次に何を学んだらいいか、彼ら自身が問うてきます。

あ、ファイル出かってただ” hoge” と書かれたテキストファイル書きだす、だけね。定型文で静的な場所に。

でもたまに、ゴールが設定できない子もいるので、そこはそっちの子に合わせて、「これができると、xxができる。xxができるとooができる。ooができると、いつものアレ、さくっと作れそうなきがしない?」と水を向けます。これがわかるまで絶対に先に進んではだめです。(プロジェクトでもそうですけどね。

しんすく(け)さん: まとめると: **個人に帰着するメリットはわかった。次に、眼に見える、グサイ成果を即時出させてあげる、次にゴールを共有する、までやってようやく詳細を教えます。**

とやると、参加する人のモチベーションも保ちやすいです。何気に、最初に「全10回」と切ってしまうのも、こつ。

で、結果非常にうまくいきました。

彼らのマネージャからの評価が高かったです。だって、覚えた技は使いたいですからね。

以上ですー。

ばんばん: しんすくさん、ありがとうございます

ここで編集部員うえだ参戦!!

うえだ: こんばんわです?

ばんばん: あと、もう一人くる予定です。誰だかはお楽しみ♪

しんすく(け)さん: (どっちだ…w

しんすくさんの予測ははずれだったと思うのだなwww

コヤマン: 森崎先生 JOIN ですw

Shuji Morisaki: こんばんわ。WACATEワークショップのプ

レゼンの視点のために参加してみました。

そう、WACATE2011 夏のクロージングセッション講師、森崎先生が登場したのでー☆

なんて豪華なんだ今回のメンバー(他に誰が来てたかは、内容とハンドルネームで想像してね♪)

mayonezudaiou: そうなると技術的なことを伝える場合は、導入によるメリット(業務だけでなく個人的なものも含め)を伝えてモチベーションを上げて、効果がすぐに見えるように、脱落者を出さないように、丁寧に伝える必要があるということでしょうか？

しんすく(け)さん: はい。あと個人のゴールと、公のゴールを分けてそれぞれにちゃんと伝える、のを意識すると思います。

得てして会社の中だと公のゴールしか伝わらないので。

mayonezudaiou: ふむ。すると距離が近く、常に同じ時間を共有できるプロジェクトメンバーに伝えるのが一番いいのかもしれないね。それで成功体験ができれば他のプロジェクトへ展開しやすい？

しんすく(け)さん: 個人のゴールをどれだけうまく”でっち上げられるか”は想像力勝負ですw

ものもの: しんすくさんの事例は、業務時間内でやった話？

しんすく(け)さん: はい、そうです。マネージャに工数とってから、です。

mayonezudaiou: 業務時間内でできるのはすばらしい

しんすく(け)さん: でも、彼らが自動化のコツを掴むことで劇的に実施工数を減らせる、ので立派すぎるほど「業務」ですよ。

mayonezudaiou: うーん。派遣な自分はむずかしいかもw

しんすく(け)さん: 「公のゴール」は「工数の削減」です。「個のゴール」は「スキル向上による市場価値の向上」です。

ものもの: 発注者と受注者と力関係が明らかに違う事例だから、社内展開をどうするかというテーマに繋がりにくい話を聞きながら思いました。

ばんばん: しんすくさんの事例だと、展開するとき、どうやって受け入れてもらうか？という点に対する工夫と、展開内容を相手が学んでよかったと思うための工夫、だと思いました。そういう点ではよいヒントになるかなあ、と思います。

mayonezudaiou: 伝える際の壁の一つか。。。>立場(受注・発注)

ものもの: 「受け入れる」というとき、同じ立場の人たちと、発注側からの働きかけとは違うと思います。

しんすく(け)さん: たぶんなんですけど、まとめで挙げた事項は、立場あんまり関係なく使えるとは思いますが。

例えば、オペレータさんが全員社員で、自分はそのリーダー、だとしても、おそらくは。

ここで志庵さんが JOIN!

新しいメンバーにー同歓迎ムード〜

コヤマン: 新人さん JOIN です

志庵【Shian】: はじめまして、宜しくお願い致します。→皆様方

しんすく(け)さん: こばんわー♪>志庵さん

オウミ: こんばんわですー >志庵さん

うえだ: こんばんわですっ>志庵さん

rin2_: こんばんわですー

つるね: こんばんわー>志庵さん

つるね: しんすくさんのまとめって、個人に帰着するメリットはわかった。次に、眼に見える、ダサい成果を即時出させてあげる、次にゴールを共有する、までやってようやく詳細を教えだすってことですか？

しんすく(け)さん: あ、いままとめますー。1分ください。

ばんばん: まとめお願いしまーす^^

うえだ: あ、本日のお題ってなんですか？

ばんばん: [こら編集部員っwww](#)

コヤマン: [www](#)

しんすく(け)さん:

導入時:

オペレータさんには待遇の向上(君らのスキルアップに弊社は全力で貢献する。かわりに辞めないでくれると、うれしい、な、強制力ないけど)。社員には目標設定を持ちかけます。個人に帰着するメリットと公のメリットをそれぞれ設定する。個人のほうは伝える側が頑張ってる。

進め方:

眼に見える、ダサい成果を即時出させてあげる、次にゴールを共有する、までやってようやく詳細を教えだす

そのとおりですね。>つるねさん

コヤマン: 壁: 予備知識の無いオペレータさんにテスト自動化を教えるのにある、モチベーションの問題と技術的問題

ものもの: 社内展開というよりも、社員教育の話に聞こえたんだな。その違いは区別している？ それとも一緒にしている？

つるね: しんすくさんの話は、お題より一歩進んで、教育の展開の方法、というように感じました。

ものもの: つるねさんとかぶった。

つるね: あ、ほんと。

しんすく(け)さん: あー。教育、よりでしたね。>ものものさん

教育と展開は

教育: 受信側にゴールを達成してもらう必要がある

展開: 生かし方は受信側次第

という違いでいいでしょうか。

この定義でいうと、まったく「教育」です m(__)m「展開」という意識ではなかったです^-^:

つるね: 教育する側の理解の深さも少し違う気がします。テーマの方はもう少し軽いイメージと受け止めていました。

ものもの: つるねさんと同じ感想。

コヤマン: 「学んだことをどうやって社内に展開するか？」
↑テーマこれですね。

今回は受け手の問題で、教育に近くなったのでは？と思いますが。

ばんばん: もともとこのテーマを希望していた方が今参加されていないのですがw教育まで突っ込んだ話ではないほうがよいですね。

ただ、伝える相手が聴く耳をもたない状態なのを、どうやって興味をもたせるか？という点ではよいヒントがあったと思います。その話を聴いたり学んだりすることでどんなメリットが得られるのかを明確にする、とか。

mayonezudaiou: もしかして、「俺、こんなこと学んだから展開するわ〜。あとは知りたければ勝手にして」ぐらい軽い感じのほうがいいのかな？色々悩み過ぎなのかな〜自分

ものもの: たとえば、「シンポジウムに参加して得た情報を社内に展開するにはどうしたらよいか？」とか、「社外研修に参加した内容を、月一回の部会で30分で紹介しているけど、いまいち効果は無いし、みんなどうしている？」みたいな。

Shuji Morisaki: 展開の仕方は組織文化ごとに違うように思いますが、そういう話が出れば特に興味があります。トップダウンなところとか。新しいもの好きとか。

しんすく(け)さん: なるほど

Shuji Morisaki: 影響力をもってできる場合と、フラットな場合で場合分けしながら話するとおもしろいのかも。

ばんばん: まず、「学んだこと」は、研修やカンファレンス、あるいは勉強会で学んだことで、それを単に話すのではなく、伝えることで何かを変えようとする場合

たとえば、「技法を学んだので、その技法をテスト設計やテスト実行で取り入れたい」としたときに、壁になることと壁に対してこんな工夫をしてみた。

とか、

「ある方の講演を聴いて、その内容が素晴らしかったので、伝えたい」というときに、どうやったら興味をもってもらえるか？とか？

・・・ともかく技法や手法に限らず、なにか学んで得たものを、相手に伝えたり業務に取りいれるときの壁や工夫と言う話をしたいです。で、その時に、業務として時間を設けてもらうかどうかというのは、「壁」の1つとして取り上げて良いと思います。

コヤマン: fm

オウミさん離脱 参加ありがとー

ばんばん: で、次ですが

・・・と書きつつ過去ログをたどり、話題を拾おうとしたのですが、しんどいので断念www つるねさんが申し込みメールで記載してくださった内容をもとに、次の話題へ。

ばんばん: えーと、すみません、過去をたどるのが大変なので・・・つるねさんにお話していただいてよいですか？

メールをいただいた中で、展開したいけど、自分の中でいったん消化しないと難しい、というお話をしていましたね？ 私もそれは難しいことだと思っています。

展開するためには、よりしっかりと理解していないと展開できないのではないかと・・・と思っています。

また、実際そういう経験を私自身がしました。

つるね: 具体例はすぐには、

外で聞いた話を中に伝えるには、その話をどれだけ自分で習得していたか、というのは大きな違いになると思います。あまり深く理解していないからだめ、というのではなく、軽く聞いた技法を社内展開するのは無理だけど、良さそうだからさわりを紹介するよ、一緒にやろうよ、という伝え方はあると思います。

なーんて、話でよいの？

ばんばん: そういう方向で大丈夫だと思います^^

つるね: なので、メモレベルですが、と、断り書きを入れてメールに流すことは良くあります。

コヤマン: メールに流すのは、「さわり」ですか？>つるねさん

ばんばん: さわりを紹介したことで良い反応が返ってきますか？

つるね: ケースバイケースですが、さわりを流して資料を見に来てね、と書く場合と、自分のメモをそのまま垂れ流す場合とあります。相手を見て決めますかね？

Shuji Morisaki: 資料等の URL だけメールしておいて「Xシ行こう」って昼食取りながら話とか多いのですが、そういうのはあまりないんでしょうか・・・想定している状況が違うのかな。

つるね: 資料がここにあるよ、と書くと、2人くらいから反応あります。書き方やタイトルにもよりますが。ただ、来てくれるのは大抵決まった人ですね。

しんすく(け)さん: あ。効く タイトル知りたいですw

つるね: タイトルって、メールのサブジェクトではなくて、聴いてきた教育とかのタイトルそのものです。

しんすく(け)さん: なるほど

ばんばん: 資料の URL だけで飛びついてくる方って、結構勉強会に積極的に参加される方が多そうですね^^メールに反応する方も同様で。そうでもないですか？

rin2_: 反応がない方はスルーでしょうか？

つるね: スルーされるのは仕方ないですね。どうしても聞いてほしい人には資料持って行きますw

mayonezudaiou: 毎回毎回誰からもヒットされなくスルーされると、自分の何がいけないのか凹むことも

rin2_: わかります！<毎回スルーされて凹む

ばんばん: そうですね。mayonezudaiouさんの言うように、だれも反応してくれないケース、多くききます。

ものもの: 基本スルーだと思いますよ。自分の仕事に直接関係ないこと多いですからね。

外部の研修や勉強会、シンポジウムで話されていることって、職場の直接的な悩みや問題を解決するものではないので、スルーになると思います。

コヤマン: 森崎先生の場合(資料メールでランチ)は話をしたあとに資料で復習してもらうのに有効そうですね。

Shuji Morisaki: ツールがあるとまた違いそうですね。ノ

ートPCで動かしながら「みてー」って感じで。

ばんばん：興味持たせてランチっていうのはよい手かもw

Shuji Morisaki：休憩（というかメシ）時間以外は時間と
ってくれる人が少ないので、そうなりがちです。

ものもの：組織の文化というか成熟度合いというのも関係
すると思います。

コヤマン：どうしても聞いてほしい人が興味ない場合はど
うされます??

つるね：どうしても聞いてほしい人って、、、自分のため?
その人のため?

コヤマン：その人のため、です

ものもの：上から目線?

mayonezudaïou：その人がピンポイントなら直接会って会
話するかも

つるね：その人のため、の場合は、角度やレベルを変えて
見せるとか、ですかね。教育の話になって行っちゃうけど、、、
一つのセミナー報告だけの話ではないですね。

コヤマン：あ、でもその人のためになると、教育に近くな
るか。。。

つるね：そういうこと。

志庵【Shian】：その人のためという名前の自分のため、な
気がします…。

ばんばん：志庵さんするどい^^；

コヤマン：うーん。組織のためだったり自分のためだつた
り、色々あるかも

しんすく(け)さん：届いてほしい具体的なスコープを冒頭
に書いてあげるといいかもすね。「xxPJのxxチームに
役立つと思うんですけどどうでしょ」的な。

志庵【Shian】：確かに組織の為にてのはありますね。

しんすく(け)さん：「職場の直接的な悩みや問題を解決す
るものではない」いえす。そこを繋げてあげるのが発信者
の凝れるところかもですな。

Shuji Morisaki：前提があつてるかわからないですが、ス
ルーされ続けますが2, 30回に一度くらいをイメージして
ます。新しい話に毎回乗ってこられるのも困るっちゃうか。
でも、**情報を出してると必ず情報がもらえるようになりま
せんか? 私はそこを狙います。**自分だけで調べるのたいへ
んだし。協調的情報フィルタリングのような。

でも、知ってほしいことなんですよ。皆さんイメー
ジされてるのは

つるね：資料を持って行ってあげるのはそうですね、その
人のプロジェクトやその時の悩みに直接役立ちそうな場合
です。

情報を出し続けていると、情報が流れてくるようになる、
っていうのはそうですね。

mayonezudaïou：たまに思うのが、自分のしていることは
「ゴルフはいいぞ、面白いぞ、お前らもやってみろ」

という上司の勧誘とそんなに違わないかもと。。。

ものもの：つるねさんの場合、おそらく翻訳してくれてい
るんだと思うのです。

ばんばん：スルーされる、というのは、それでもよいので
しょうか? **スルーされても展開する意図はどこにあるの
でしょう?**

ものもの：組織を変えて居心地を良くしたいから?

コヤマン：部分最適ではなく、全体最適したい場合とか?

志庵【Shian】：意識付けとしては、例えスルーされたとし
ても何かしら残るのでは?

つるね：単体のセミナー報告と、情報を出し続ける話とが混
じってきてますね。

ばんばん：学んだことは、必ずしも誰にでも必要なわけ
ではないけど、もしかしたら誰かが必要としているかもしれ
ないから、展開してみる、という感覚なのでしょうか?

つるね：もしかしたら誰かが、よりはもう少し。ひよっと
したらこの辺の仕事している人が、くらはは思って発信し
ますw

ものもの：例えば、テスト技法研修を受講して、その技法
を他のチームに教えたいと思って、報知したとします。

でも、他のチームはスルーします。

学んできたという技法の効果が分からないんだよね。受講
報告だけだと。

それでもって、組織に導入するコストも分からない。リス
クは負えないんだな。

ばんばん：教えたいと思っているのに、スルーされるのは、
改善する必要がありますよね?

志庵【Shian】：学んだ事が自身にとって必要ならば、誰か
にとっても有益かもしれないのでお伝えします、のスタ
ンスでいますね…

ばんばん：効果やコストの話は、先ほどのしんすくさんの
話のほうに、メリットを明確に伝える必要がでてくるよう
ですな。

でも、リスクになる、ということでしょうか?

mayonezudaïou：ちなみに部内アンケートで勉強会の情報
(いつ、どこで、どんな勉強会が行われるのか)とかセミ
ナーとかの受講したことへの展開をしてほしいという結果
があつたのにもかかわらず、展開してもスルーというのは
どうでしょうか?

ばんばん：mayonezudaïouさんの場合も、改善点がありそ
うですな。

mayonezudaïou：たぶんニーズと違うのかな~>展開して
ほしい内容

ばんばん：展開のしかたにも問題があるかもしれません
ね?

しんすく(け)さん：xxがあつたよー というのは xx
がほしい! という「人」と「粒度」が奇跡的に一致しな
いと響かないかもです。受信側がこの「粒度」のスコー
プを広く持ってくれる(いわゆる”やる気がある”)場合は幸
いですが。

ものもの：発信した人は、「良い物を手に入れたから、一緒
に喜ぼう。」「うれしい、楽しい経験したから、それを共有
したい」と思っているんだけど、受信する側は、利害関係
で見ちゃうので、すれ違うことが結構多いんだ。

コヤマン：ぶっちゃけ、人に興味もってもらうのってそん
なに簡単じゃないです

ばんばん：ものものさんの話、なるほど。思いが違うとい
うのはありますな。

コヤマン：まず、興味を持つ対象が十人十色だし、それに
対する伝え方も十人十色だから、なかなか合致しないよね

Shuji Morisaki：**タイミングがあわないとスルーされるの
がほとんどじゃないんでしょうか。。。**よほど余力がな

いと難しくないでしょうか。かなりウワサになってるアレとかなら別だと思うのですが。

ものもの：展開しやすいのは、●●ハックネタですね。直ぐに導入できるし、導入結果も分かりやすいし。

mayonezudaiou: 業務が忙しく自社へ帰れないので、セミナーの受講報告会に出れないという人はいるかも。

ハックネタはいいかもですね

しんすく(け)さん: なんか、簡単に使えそう！ってイメージわきますね。> ●●ハックネタ

mayonezudaiou: でも上司とかには注意がいるかも>ハックネタ

ハック=悪いことと勘違いするかもw

ものもの: でもね。「SLAの効果的な設計法」というセミナーを聞いてきました。と皆さんに伝えたとして、興味を持つ? 「システム運用設計の奥義」とか、これ過去に受講した研修なんだけどね。

つるね: **いろんな知識を受け入れやすい文化かどうか、というのもありそうです。**今の職場は半分くらい元研究所なので、割と受け入れやすいかも。反対に(以下書けない、w)

mayonezudaiou: よるほー

ばんばん: **興味を持ってもらうような工夫は少なくとも必要かなあ、相手にスルーされたくない場合は。**

コヤマン: うんうん

mayonezudaiou: 一種のプレゼンのトレーニングかな?

ものもの: 森崎先生も仰っていますが、SLAを決める人にとってはピンポイントで聞きたいテーマですが、普通に仕事をしている人にはあまり必要とされないかも。

志庵【Shian】: 工夫は必要ですね…

Shuji Morisaki: 「これって、こないだ困ってたアレじゃないんですか?」という投げかけから始まるんじゃないかと思うんですが、そういうことではない? だいたい「違うんだよねー」ってなりますが(笑)

ものもの: でも、SLAの設計法を知らないと運用テストの設計ができないんだよ。

テストに興味を持っている人には、**それに合わせて編集してから発信しないとうまく伝わらない。**

Shuji Morisaki: 「運用テストを設計するのに困ってませんでしたか? SLAの設計法が使えそうですよ?」ではダメなんですかね?? だいたい「違うよ」ってなりますが(笑)

ものもの: セミナーの受講報告をメールで出すときは、タイトル「SLAの効果的な設計法」で流れるんです。でね。

困っている人が予め知っているのであれば、森崎先生が書かれているように、「前に困っていたよね。これなんかどう?」と紹介します。

でも、SLAと運用テストの間には、応用力と言いますが、テストで使える技術にするためには、**変換が必要なんですね。**

コヤマン: **割と最近思うのは、そもそも「困っている」と認識していない人が多い。**

Shuji Morisaki: ああ。なるほど…。

mayonezudaiou: たしかに!

コヤマン: ハタから見るとあぶなっかしくて、やべーんじゃないか、と思うんだけど、当人たちは「まあ、いつも

通りッス!」的な、今まで通りなんでOKッス!的な反応が多くて。

この変換が自分で出来ない人はスルーしてしまいます。

mayonezudaiou: **うちは困っているが、どう解決すればいいの、かもやもやしている状態かも**

コヤマン: うん。最近は「もう仕方ないよね」というパターンの方が多いんですけどw

Shuji Morisaki: たしかに現状維持で十分という考えはありそう。なんとなくわかってきたように思います。

コヤマン: **なので、興味の有無もあるかと思うんですが、「危機感」の有無もある**気がしています

ものもの: 一般的な管理職研修を受講すると驚くことがわかるよ。「自社の問題を挙げなさい。」というテーマで、「問題ありません。」と答える人が多いと昔から言われています。経営の本を読むとたいてい載っています。

コヤマン: ww

mayonezudaiou: でもその質問もちょっといじわるかもw

Shuji Morisaki: **現状維持で一切リスクや追加時間を拒絶するならば、メリットや効果を示したところで体よく断るだけなんじゃないですかね…。**きっかけは感受性の高い人からなんじゃないかなあと思います。なんかズレてますかね。

ものもの: そうです。僕が言いたかったことです。**メリットや効果では動かんのよ。**しんすくさんの最初の話で、メリットを提示したら関心を持ってもらった、という話に違和感を感じたのは、それです。

コヤマン: **となると、根本的解決は「感受性の高め方」あるいは「感受性の高い人がどうそれを伝えるか?」になります??**

Shuji Morisaki: **あとタイミングじゃないか**と思います。

余力がないと受け入れられないですよ。

mayonezudaiou: 感受性の高め方は興味があります。という

か、それを目指して社内活動してますので。一度社内、ぶっちゃけ何に困っているかを語り合う会とか企画したらどうだろうか?と考えるもいる。

しんすく(け)さん: 動かない人もいる、とは思いますが。ただ、多くても半々ぐらいではないでしょうか。

で、私のスタンスでは動かない人にはまた別のアプローチが必要になるかな、と。もし、**動かない人が支配的であれば、空気から変える必要がある**と思います。(感受性の話です)

Shuji Morisaki: 周りの人に伝える程度であれば、周りの人が、本人が自覚しているかどうかは別として、困っているなことをなんとなく把握できてないとダメかもしれないですね。自覚の有無は別として困っていればメリットや効果に反応してくれそうですよね。

しんすく(け)さん: (経験的には、9割以上の方がメリットや効果で動くのですが、これはたまたま恵まれてるだけなのかも^-^?;

mayonezudaiou: しんすくさんところはモチベーションとか高い人多そうwうちみたいなSIerは。。。w

Shuji Morisaki: 組織文化っぽいんですね>しんすくさん。最初に聞いたかったのはこのあたりでした。

しんすく(け)さん: なるほど。。。難しいですね^-^;

しんすく(け)さん: (あ。研修?を終えても半信半疑だった

人が実際に成果をだして、上司に褒められて、その時になってようやくモチベーションを持ってくれた人も過去に居ました。いまさらー？（笑 と返しましたが

つるね: **伝えたいことの即効性によるのでは。** しんすくさんの例は即効性があるってわかりやすいパタンのような気がします。

もののもの: うん、僕もそう思う。

コヤマン: 確かに。

しんすく(け)さん: 同意>即効性。

ただ、即効性をどう演出するか？は工夫のしようがあるきがしません？

ばんばん: 即効性の無いものは難しいですね。確かに。

つるね: **即効性があるように見せるのは知恵の一つですね。**

もののもの: **これがね。テスト分析とかだったら、めちゃくちゃ困難だから。テスト分析なんかなくても、仕事が回るんだ。**

ばんばん: 困らないのですね。仕事が回るから。今の仕事をやる上では、まったく必要はない。

しんすく(け)さん: そうそう

コヤマン: 今、ぶち当たってる壁だー

もののもの: **でもね。将来のことを考えると組織としてもテスト分析できる力を持たなきゃいけない、とか考えるわけ。それを共感してくれる人がいないんだな。**

今の仕事で困っているのは、テストケースが山ほどあって、それをどうすればいいかということ。だから効率的に消化する方法を、しんすくさんのように教えてくれると、直ぐにのってくる。

しんすく(け)さん: 「明日からは使えないかも知れないけど、それを知りながら明日から仕事するのとそうでないのは、後々ものすごく差がつくとおもうんだけどどう？例えば××のレビューの時これを知ってれば要求する資料も変わってくるでしょ？」とか。

目の前のことをよく見せるのはたしかに簡単ですね。

つるね: 長期的、マクロ的な視野を持たないと。それを持たせるにはうまいシナリオを見せて根気よく、、、ってまたお題から外れてきたような気がするけど。

もののもの: はい、少し離れているけど、少しは関係するかな。

もののもの: さきほど、●●●ハックという言い方をしましたけど、直ぐに導入できるものと、そうでないものを区別した方がいいかなと思って。

しんすく(け)さん: うまいシナリオを見せて ってまさに、ですね。

コヤマン: 長期的・マクロ的な視野を持つ=感受性

コヤマン: うまいシナリオを見せる=それをどう伝えか

もののもの: マガジンのことを考えると、現場の人が社内に展開することを話しているんだと思うんだけど。

現場の人でも少し先のことを見て、手を打とうとする人もいるんだな。

Shuji Morisaki: **インフルエンサー的存在かどうか**っていうのも効きそうですよね・・・。懐疑的だと実際に効果が出て「いやー、どうなんだろうか」ってなりませんか？

コヤマン: そうなんですよ。

コヤマン: インフルエンサーになれるかどうか。現場にいる人が影響力を持つには…ってコレもまた別の話になりそうだ orz.

Shuji Morisaki: **新しいものを取り込まないことが安全につながっているという確固たる考えも障壁**ですよ。結果として徐々に競争から取り残されるという感覚があるといいですが。新しいものを取り込みすぎて失敗しすぎるのもこわいですが

mayonezudaiou: 無理やり新しいことを取り入れないといけない環境になれば。。。不本意だけど。

つるね: さっきの話になっちゃいますけど、**長期的に良質な情報を出し続けていると、なんとなくインフルエンサーになっていくかな、**と思います。

Shuji Morisaki: そう思います。

コヤマン: つるねさんに同意です

Shuji Morisaki: そう、で、スルー前提で情報を出し続けるというのは1つのやり方なんではないかと

しんすく(け)さん: 同意です。 > なんとなくインフルエンサー

ばんばん: 良質な情報を出すように意識していますか？> つるねさん

つるね: **自分の納得できる情報じゃないと出しません。**それが良質だといいますがw

mayonezudaiou: そういえばJaSST11 東京でもとにかく伝え続けるという意見があったような。。

ばんばん: 先ほど、つるねさんはメモ程度の展開という話をしていたと思うのですが、その「メモ」の内容も、意識されていますか？メモ自体に何か工夫をしているとか

つるね: **メモを書くという時点で自分のフィルターがかかりますね。私、納得しないと文に書けないので。**

ばんばん: なるほど、メモを書きながら、自分なりに理解を深めているという感じ？

つるね: 良いと思ったところは講師のコトバだけじゃなくて、自分のメモとか、隣の人と話したこととかも入れたりします。

ばんばん: メモのかきかた次第で興味をもってもらえるかどうか違いが出るかもしれないなあと、思っています。

つるね: んー、気合が入った時とそうでない時でちがうからな。。。w **興味を持ってもらうかどうかは、メモにつけるメッセージの方で勝負かとw**

ばんばん: なるほど、メッセージで勝負ですか

コヤマン: メッセージに特化というよりは、アウトプット全てにおいてクオリティは高めないと難しいかなあと思っています

ばんばん: 私も講師の言葉+自分が感じたことをメモしているのですが、それをまとめるのが結構難しい。そこは皆さん苦勞してませんか？

つるね: 相手に興味を持たせるかどうかというクオリティと内容のクオリティは目的が違いますよん。

コヤマン: あ、そうですね。今は前者の話ですね

しんすく(け)さん: 講師の言葉を咀嚼して、自分の意見にするためにはそれなりの知識が要りますね。知識をベースに知恵で変換とゆーか。

ばんばん: 内容のクオリティが高くないと、展開したことがうまく伝わらなかつたりしませんか？

興味を持たせるために内容のクオリティを高めるのは違うかもしれませんが、メッセージで興味をもってもらった上で、内容をうまく伝えられたらいいのではないかなあ、と思うのですが。

mayonezudaïou: なんかこれは WACATE2011 夏のワークにも絡む? > 内容のクオリティが高くないと展開したことがうまく伝わらない

Shuji Morisaki: 私の資料には含まれてます。

コヤマン: おお@@;

mayonezudaïou: おお! だけど私は参加できないんですよorz > 森崎先生の講演が聞けない

Shuji Morisaki: ぐはっ。

mayonezudaïou: 情報処理試験め。。。

コヤマン: 相手に興味を持たせるという視点がまた難しく、個人に持たせるのか、組織に持たせるのか、不特定多数に持たせるのか、それによって、やり方が変わりますよね。つるね: クオリティが高いに越したことはないですね。ただ、相手によってレベルは異なるかと。そこをいちいち気にしてたら何もできないのでは。(というか、自分にできる以上のことはできないし)

ばんばん: クオリティを意識しすぎて何もできなくなるのは確かにマイナスですね。

Shuji Morisaki: やりやすそうかどうかって伝えたいモノによってほしい決まらないですかね? 私の場合はそうなんです。

mayonezudaïou: **二段階方式で、とりあえずセミナーにあってこんな感じだったと軽く伝えて詳細は次のレポートで。。。**
みたいな?

Shuji Morisaki: でも、あまり作るのに時間をかけてるとそもそも展開できる機会が減ってしまわないですか? ある程度時間がなくてクオリティは高くないですね。

ばんばん: そこはバランスをとる必要があります。情報の鮮度も落ちてしまいますよね。

mayonezudaïou: だからこそ二段階で展開したらどうでしょうか?

Shuji Morisaki: はい。多段階で。

Shuji Morisaki: そう、すばやいほうがよかったです。

全部が全部そうではないですが。

ばんばん: またキーワードが出てきましたね^^

mayonezudaïou: 内容のクオリティとか多段階とか情報の鮮度とか展開の機会の減少とか色々ありましたね > キーワード

Shuji Morisaki: もののもののテスト分析の話のようにデカイテーマも難しいですね。粒度によってもやり方は違いそう。

mayonezudaïou: 少し話は変わりますが、**文章の量って気にされていますか? メールにて展開する場合、どの程度だと多すぎず読んでもらえるのでしょうか? いくら内容が良くても、量が多すぎると読んでももらえないかも?**

ばんばん: 展開するものによる?

つるね: 長すぎるものだったら、最初にお詫びをつけるか、要約を数行、載せるようにしてます。あと、小見出しつけ

たり、改行を工夫するとか、読みやすさに気を付けることはありますね。

ばんばん: さて、

そろそろ3時間なので、いったんまとめに入りましょうね
もののもの: あっ、まとめ。

**実はものものさん、俺が語れる話題になってきたー♪と思
っていたそうです(後日談)^^;; ; ; ;**
ホントゴメンナサイ・・・orz

ばんばん:

まず、壁について・・・

相手が興味を持たない

・・・あと何がでましたっけ? (爆)

相手の目的と自分の目的が異なる

というのもありましたね。展開したい側の目的とそれを受け取る側の目的。

でも、大きな壁は、やはり相手が興味を持たないということでしょうか。

それに対する工夫として・・・

メリットを明確にする

困っている人に伝える

展開のタイミングが大事

一気に展開しようとせず、段階を経る

展開する内容は、自分が理解していることが大事

相手が情報を得る目的を把握する

・・・というようなことが出た、と思っています。

あってますか?

補足とか修正とかありましたらどうぞ

Shuji Morisaki: **インフルエンサーと即効性**ですかね

ばんばん: あと、**組織や周りがなにに困っているのかを把握することと把握させることが大事**かもしれません。

ばんばん: ...反応が無いのは、みなさん過去ログたどってます? w

mayonezudaïou: うい

コヤマン: うん

mayonezudaïou: マインドマップとかでまとめておけばよかった

しんすく(け)さん: みてます~

志庵【Shian】: 見てます。

コヤマン: 大筋合ってると思います

つるね: 過去ログ辿ってます。。。ばんばんさんのまとめを見ていて、どこかで見たことある内容が多いな、と思ったら、今読んでいる「**レポートの組み立て方**」(木下是雄)でしたw 相手が情報を得る目的を把握する、とか。

ばんばん: 819 円で購入できるのですよね! レポートの組み立て方。

つるね: 「理科系の作文技術」だったかな? が、有名ですが、これはその文系向けの本です。でも、おすすめ。

ばんばん: 研修レポートを作成するのに役立つそうなの・・・つまり展開する文章ということになりますね。

ばんばん: 私はチャットの中で結構ヒントとなることを教えていただけたなあと思っています。皆さんいかがでしょう？

Shuji Morisaki: プレゼン作成の上でも参考になりました。

コヤマン: ww

志庵【Shian】: 私も沢山のヒントをいただきました。新参者ですが、本当にありがとうございました！

しんすく(け)さん: 段階をへる、インフルエンサーになる、辺りとっても実感できます。

なんとこのタイミングで初参加 yumiko さん JOIN ^^ ;
・・・もっとも yumiko さんが参加表明しているのに気づくのが遅れてしまったのですが；ごめんなさい><

yumiko: こんばんわ！はじめまして。WACATE チャットデビューです☆よろしくお祈りします！

ばんばん: そろそろ反応が返り始めていますが、もうひとつ伺いたいのが、次回のテーマで、こんなこと扱ってよっ！というものはありますか？

みんな当日ついったーで参戦宣言するんだものwww

コヤマン: うんうんw

ばんばん: メールで事前に伺いたいのは、扱うテーマと、今回のテーマでどういう話をしたい？なのですね。

テーマ募集と当日の進め方の参考にするので、話したいことについては Twitter でもいいから教えてくださいね♪

しんすく(け)さん: 次回のテーマ。。。考え中。。。

うえだ: 次回開催は WACATE 直前ですか？

コヤマン: 次の開催時期は WACATE 直前になりそうですね

mayonezudaiou: WACATE 直前予習チャット？

メインワークのお話はしませんよーんwww

ネタばらしそうだし、あたし(え)

ばんばん: インシデントレポートについてなにか話をするのはよいかもかもしれませんね。

mayonezudaiou: そういえば WACATE を社内展開して、興味を持った人が参加してくれました！ってことをたまに聞くけど、その伝え方って聞いてないな～

ばんばん: そこは経験者に訊くのが一番な気がする・・・

コヤマン: 僕は、実は今回のテーマで話そうと思ったこととあんまり変わらないことしましたw

すっごく端的に言う、「いやー、すげー面白かった！」「次も楽しみ！」「すげーヤツらに会いに行くんだ！」とか、興味ありそうなヤツらにえんえん飲みながら喋っただけですw

yumiko: 私はニーズの掘り起こしから始めるかも。。(ぼそ

mayonezudaiou: やはり直接の会話がポイントか。。。

ばんばん: 文章より直接の会話のほうが効果的だと思います。はい。

コヤマン: WACATE って、ディスカッションの場なので「こういう意見も聞けた」「こういう意見もある」「こういう見方もある」ということがたくさんもらえるのね。これが、「そんな見方があるなんて！」というガビーンに繋がるらしい。

mayonezudaiou: そういえば、某楽器な人は「社外活動でのモチベーションを業務でも発揮しろ」と言われて色々悩んでいたな。。。

テーマとしてはあり？

コヤマン: そこから、興味ありそうなテーマのときに誘って寸法ですわ。この「興味ありそうな」というところはニーズの掘り起こしです。

yumiko: たしかに自分が社内展開すると、いろんな見方とか教えてもらう情報がおおくて自分が勉強になりますよね。

コヤマン: うん。ゆみこさんの言ってるのは、先ほどつるねさんが言われていた、アウトプットするとインプットがあるってハナシと同じですね^^

yumiko: 普段からいろんな人と会話して困ってることを把握しておく、興味を持ってもらうことにはそんなに苦労しない気がします。

コヤマン: で、次回のテーマ。。。 どないしょw

次回のテーマはコーナー最後に発表しまーす☆

ばんばん: では、いったんここでおわりということで・・・

コヤマン: あい。皆さん、今日は長い間有難うございました！とっても有意義な時間でした！

つるね: はーい。お疲れさまでした♪

志庵【Shian】: ありがとうございました。

rin2_: お疲れ様でしたー。

ばんばん: 皆さんありがとうございましたー^^ー

yumiko: 次回はもっと早くから参加します！

mayonezudaiou: おつかれさまでした～

うえだ: ありがとうございました？、お疲れさまでした？

ばんばん: あ、この後残ってもいいのよもちろん。

しんすく(け)さん: おつかれさまでした～m(__)m

S.M.: おつかれさまでしたー

この時点で[1:32] うーむ、30分オーバー。。。

このあと、20日に開催された SQiP 研究会の特別講演の話をしました。

講演者は WACATE2009 冬でも講演してくださった清水さん。WACATE ファンの皆さんはじめ、若手エンジニアの皆さんに超おススメな内容でした。なお、特別講演については後日 SQiP のサイトにレポートが載ります。そちらをご覧くださいと良いと思います^^

ちょこっとだけ載せますね♪

yumiko: そういえば昨日の SQiP 研究会の特別講演はとってもおもしろかったです。やる気ができました。

コヤマン: おお

ばんばん: 清水さんの講演ですね^^

yumiko: 今日のここのメンバーも聴けたらよかったのに、

と思いました。

ばんばん: 実は、今夜のチャットをしながら、話がつながるなあなんて1人で思ってましたwココロが足りない**と技術の習得が継続しない、どこかで勝手に満足してしまう、ってところとか。**

コヤマン: おおー

ばんばん: 勝手に満足しているから、困っていないんだろうな、と。

yumiko: 清水さんの話とは少し違うかもしれませんが、今日のテーマに関係しそうなことで昨日ふと考えたのが、**お互いが Win-Win になれるポイントをさぐるのが最初の勝負どころなのか**と思いました。

そのポイントを探ってみつけることができれば、次はそのポイントを理解できるように説明できれば、興味を持ってもらえるのかな、と。

mayonezudaiou: 人によって何をもちって満足とするのかが違うのかな。。。

ばんばん: 説明するのが難しくて壁になっている？

yumiko: 説明するのは難しいですね。。

ばんばん: 私もそう思っています。

yumiko: 昨日もそんな話を小池さんとしてました。何が困ってる？って聞かれて。

あとは、自分が気づかないところに気づいて相手のことを理解できるかどうか**も勝負どころ**かと、これまたふと考えてました。

気づくにはいろんなインプットが必要だな、とか。だから本読んだり話きいたりするのが大事だなと。

それで、清水さんの、SWEBOKの目次は自分が理解してることのチェックリストになる、という話を思い出してました。

コヤマン: インプットが無いと、気付くことすらできませんものね。全てを気付くほど、インプットもできませんが。。。

ばんばん: は、SWEBOK みなきゃ・・・w

yumiko: 全てはバグと同じように無理なので、あまり目指してないかも。**タイミングとか順番とか大事**ですよ。

ばんばん: 自分が気づかないところに気づくというのは？相手のことを理解するのに、自分の気づかないところに気づく必要があるということですか？

yumiko: たくさん話を聞いておいて、説明(?)を始める。その説明するにも相手が理解できるような順番で説明していくのが大事だな、というのを省略しました。すみません。

yumiko: はい、そうです。<自分の気付かないところに気づく

あ、でもそれは一部の話かも。自分と同じ感覚を持つてる人と話をするには苦勞しないけど、たぶん、苦勞するときって、自分と違う側面を見ていたり、価値観が違ったりするときだと思うんです。営業さんと開発側でも全然違うし、SIと商品開発でも違うし、テスターと開発者も違ったり。。

でも、お互い、人は自分と同じだと勘違いしてるから亀裂が生まれたりしませんか？

mayonezudaiou: たしかに。

ばんばん: 自分と同じように理解している、と思ってしまいがちではありますね。

mayonezudaiou: でも同じ「ものをつくる」という意味があって会社に入ってるはずなのに、ベクトルは同じ向きなはずなのに価値観が違うのもな～。。

yumiko: 清水さんの話と何か関係してて話そうと思ってるのですが、何だったか今一生懸命思い出してます。メモ復習します。

同じものを作って、同じことを目標にして、お互いのことを考えてるのに、亀裂が生まれる。

つるね: **違うことを意識したうえで、あえて、同じ方向を見ているよ、と、相手に思わせることによって歩み寄ってもらえることも多い**です。これはちょっと違う話でしたわw

コヤマン: 僕はあえて視点を合わせて、僕の立場では～という発言をしますね

yumiko: はい。同じ方向を見てるよ、と再確認すると、一気にいい方向に進みはじめますよね。

コヤマン: 最終目標は同じですし^^

mayonezudaiou: 同じ方向か。。若手とベテランだと難しいんだよね～w

yumiko: ゴールの共有と、共感は大事ですよ。その共感するところがスタートで、一番大事だと、秋山さんから習いました。

更に「肯定眼」の話などにも触れました。

だんだん寝オチ組がでつつも、語りは続き・・・

そして、時刻は[3:47]

実はこの時刻になって、今回のテーマを提案して下さった本人が登場しました(爆)

ばんばん: お、今回のネタ提供者がチャットルームにくるらしいぞ!

yumiko: ??

mayonezudaiou: なに!

ばんばん: ...実は今回のテーマは、参加者から頂いたものなのですわ。で、彼女、**PC前にして寝てたって・・・**
www

mayonezudaiou: ちょwww

yumiko: ええー？(爆笑)

わっしー: こんばんはー こんな時間にすみません;

mayonezudaiou: こんばんは～?おはよう?

yumiko: こんばんわ&おはようございます!!

わっしー: おはこんばんちは

yumiko: もうすぐ朝。。

今は yumikoさんと mayonezudaiouさんと・・・あと、PC前に寝オチしている男どもがいるらしいw

yumiko: **おしおきです。>寝落ち組**

ばんばん: で、今更ながら、わっしーさんの話聞いてもいい?

わっしー: はい!

ばんばん: とりあえず、今夜のてすバナでは、展開先が興味を持たないよね、という問題点がでました。

わっしー: そうなんですよおおおお

社内勉強会を計画しても忙しい忙しいそれどころじゃないって集まらないことが多々。

mayonezudaiou: ごめんなさいorz

ばんばん: ああ、それは私も経験しましたね。業務優先だから、会社が時間を調整してくれなきゃね～みたいな態度でw

で、興味を持たないのはなぜだろう?という話も出ました。

わっしー: **問題意識がないですよ**

ばんばん: そう、問題意識をもっていないよね、という話になりました。困っていないんじゃないかな?と。

わっしー: なんとなく書けちゃいますから、テストケースって。

ばんばん: あー、ものものさんが言ってましたわ。テスト分析なんかしなくてもテストケース書けちゃう、みたいな。

mayonezudaiou: 自社の人間が自社で開発してるなら移動時間もないし、なんとか業務を調整できますが、客先にいて移動時間もバラバラ、業務内容も違う。契約も請負や委託だったり派遣だったりすると色々難しいですね>社内勉強会

mayonezudaiou: なんとなくかけてしまうというのわかります。>テストケース

だからテスト部隊でもない開発の人に色々説明するのは難しい

ばんばん: あと、展開する側は「面白いよ、一緒にやろうよ」という意図で展開しているけど受け取る側は効果とかメリットとかを知りたがる。と。

わっしー: そうですw展開したらしたで、**あっそう勉強したんだ、じゃあお前やれば**、というノリに。

ばんばん: **www学ぶ気がないwww**そういう話も昨日の清水さんの講演ででたねえ

わっしー: おお～

ばんばん: コンサルタントを雇えばいい、と同じだわ。コンサルタントにやらせてしまって、**結局自分たちで学ばない**って。

わっしー: まさに!

ばんばん: それは一時的に結果がでてても意味ないじゃーん、と。

わっしー: そうなんですよ。学んだことを展開したいのに、**展開先は「こいつに任せときゃいいのか」みたいな反応**ですもん。実践せんのかい!

ばんばん: そのパターン新しいですねwそうか、受け取る側は、内容を知りたいのではなく、その内容を理解している人がいるということを知りたいのか・・・

わっしー: はい、そういう人がいたらもうそれについては勉強しなくてもいいや、という感じです。

ばんばん: 困っていることがあるのだけど、解決方法に問題があるのですなwwwということは、その人たちが学ばなければならない理由を明確にしないといけないですかね?

わっしー: はい。それを明確にできなくて・・・

ばんばん: しんすくさんが事例を教えてくださいなのですが・・・(この後概要説明)

mayonezudaiou: たしかに参考になりますね>しんすく(け)さんの話

mayonezudaiou: ちょっと、今まで以上に社内の勉強会について考えてみようかな。。その前に自分も勉強しないとwまずはやってみる。そして失敗してみる。その中からフィードバックを得て改善していく。。この失敗を許す文化が

必要かも。

わっしー: 失敗したら吊るし上げです

yumiko: 得られる効果を出すのは重要ですよ。

yumiko: こんなお悩み解決できます!って効きますよね。コンサルタントみたいに何をえらそうな、自分、って思いますがww

この後、夜中話していた内容をわっしーさんに伝えました。

ばんばん: ただ「聴きました。これが資料です。」っていつて展開しても、うまく伝わりませんよね?

mayonezudaiou: 今回の趣旨とは違いますが、そういう意味では、セミナーとかで如何に自分が理解できるかって重要ですね。短い時間での理解力向上テクニックとか

ばんばん: 結構きちんと理解するのは大変ですよ～

私は、自分が理解できた範囲でレポート書いてます。

そういう意味では二人以上同じセミナーに出るとセミナー後に振り返って理解を深めて、それから社内に展開できますけどね。なので会社としても、業務で行かせるなら二人行かせるといいかも

更に夜中の話をわっしーさんに伝え中w

yumiko: インフルエンサー、私もめざします。というか、そうならないと回らなくなりますよね。

魚を与えるだけじゃなくて、釣り方を教えるほう。魚を与えるほうが簡単ですが。。

ばんばん: 展開するためのレポートの内容のクオリティを求め過ぎて、展開のタイミングを逃すのはよくないねという話もしました。

その対策として、いききに情報展開するのではなく、段階的に展開していくのがよいのではないかな?多段階がいい、という話ができました。

わっしー: **1回につめこもうとしてました。そうか、多段階か**

ばんばん: 多段階だと、一発目で興味を示した皆さんに絞り込んで提供することもできますし、そうすると直接会って話をするのも、やりやすくなりそうですね。

あと、多段階にすることで、一発目を素早く展開できる。

わっしー: すばやく、ってのがいいですね。セミナーとかで受け取った熱意とかモチベーションをあつつあつのお届けできる。

ばんばん: 情報の鮮度は大事なので、まず出せる情報を展開すると。

yumiko: **逆に、寝かせる必要があるときもある**、と私は思います。

ばんばん: 確かに。寝かせるというか、考え直すというか、まとめ直すというか。。寝かせる必要がある部分は段階的に展開しけたらいいのかなあ・・・

yumiko: 寝かせる、というのは、考え直す、やまとめなおす、というより、**その話を聞く下地ができるのを待つ**、という意味でした。すみません。下地ができる、というかつくる、です。

ばんばん: あ、いや、あやまる必要ないですわ～^^;; ; ; ; ゆみこさんの意図することのほうが寝かせるという言葉ど

おりですわ。

ゆみこさんの話は、タイミングを狙うという点で有効ですよ。本当に困っているときに引き出してくる、みたいな。

ばんばん： 本当に困っているというかそれをきちんと利用できるタイミングで展開する、というほうが正しいか。

わっしー： **困らせるようなワナをはらねば**・・・

ばんばん： そうそう、困ってもらうしかけて必要なのかなあって思いました。

yumiko: ワナ ww

わっしー： あの人たち（一部）はどうやって困るんだ・・・

ばんばん： 困っているんだと思います。気づいていないだけだと。

mayonezudaiau: 困ってしまう仕掛けは面白いw

yumiko: うーん、漠然と困ってて具体的にない状態なのを、ポイントに気づいてもらえるようにいろんな側面から切ってみるとか。そういう意味だと仕掛けるかも。

ばんばん： どーでもいけど外がだーいーぶ明るいんですがwww・・・たぶん九州はまだ暗いですねw

わっしー： **外見て、時差を思い知りましたw**

yumiko: あ、明日のCFD勉強会。。寝なきや。

ばんばん： あああああ、そういえばああwwwて、私エントリーしてないけどw

yumiko: えー？今すればいいですよ。きっと。（だめ??）

ばんばん： でも秋山さんから直接いろいろ訊けるので行かなきゃ損ですわw

mayonezudaiau: そうか、もう朝か。。。組込み OS 本読書会に行くか髪を切りに行くか結論出してないw

yumiko: そうですよー。絶対！！

ばんばん： ただ、これから寝て起きたらすぐ出かけるってレベルですわなきっと；

yumiko: ですよね。なので、今日はこれで落ちます。

mayonezudaiau: 今寝たらいつ起きるのか。。。

yumiko: 今夜はたくさんお話できてよかったです♪寝る準備に入ります。これからもよろしく願います。おやすみなさい☆

ばんばん： はーい、て、私ももう寝るうw

mayonezudaiau: 乙です！おやすみなさい～

わっしー： ありがとうございますー！おやすみなさい！！

yumiko: See You～☆

ばんばん： ではでは^^/

終了 [4:53]・・・orz

ちなみに、この後一旦寝てから CFD 補習会に行きました♪ CFD 補習会は、WACATE-SNS イベントとして募集をしていたものです。（アテンドも利用していました。）

WACATE-SNS で勉強会のイベントが開催されることがあります。WACATE 参加者による、WACATE の予習会・復習会イベントなども募集が行われています☆

勉強会のチャンスを逃さないように、SNS も要チェックですぞ！！

※WACATE-SNS は、WACATE 参加経験のある方限定となってい

ます。まずは WACATE にご参加くださいね☆

■参加方法と次回予告だよ

□チャットに関する要件は以下の通りです♪

・Skype のチャット機能を利用します（ボイス通信は使いません！）

・グループに参加していただきますので、コンタクトリストにない人が含まれるチャットに参加できるように設定してください

・チャットに表示される名前を、Magazine に掲載してよいハンドルネームに設定してください

次回開催は・・・

6/18(土) 22:00～ chat 開始！

21:55 にはパジャマに着替えて skype 前集合♪
テストのお話しましょう♪

テーマは

「WACATE2011 夏 で得たいもの」でっす！！

■参加申し込みは以下の方法で！

WACATE-Magazine 編集部のチャット窓口

(magazine-chat@wacate.jp) に

「てすパナ参加希望」という件名で

以下の情報を添えてメールしてください。

- ・名前
- ・Skype 名
(検索で複数名リストアップされる場合に備え、メールアドレスも教えてネ)
- ・今回のテーマについて、チャットで語りたいこと
- ・今後テーマとしてとりあげてほしいこと
(できるだけ皆で議論できるようなテーマをお願いします)

皆さんのお申し込みをお待ちしております☆

今回のチャットルームオーナー：ばんばん

Software Test Topics

当番：上田 卓由 (Magazine 編集部)

こんにちわです♪

上田ですっ

さてさて、もう WACATE2011 夏が今月開催されますね♪♪
みなさん、セッションに向けていろいろ書籍を読んだりなどの事前準備は抜かりないでしょうか？

じーつーは一、上田は、今回の WACATE から実行委員になっちゃいましたっ

プログラムをご覧になられるとおわりになると思いますが、上田はポジションペーパーセッションを担当しちゃいます～♪

そんな感じで今月もお役立ち情報をお届けしていきますねー♪♪♪

【PDF】Quality One Vol.14

PDF がダウンロードできます

<http://juse-sqip.jp/qualityone.html>

発行元：財団法人日本科学技術連盟

形態：PDF(ダウンロード)

価格：無料

【資格】JSTQB 認定テスト技術者資格試験 第 11 回 Foundation Level 試験

受験受付中ですっ

<http://www.juse.or.jp/software/40/>

日時：2011 年 8 月 27 日(土) 15 時 16 時

試験料：21,000 円(税込み)

開催地域：新潟、東京、愛知、大阪、福岡、熊本、沖縄

申込期間：6 月 6 日(月) 15:00~7 月 19 日(火) 15:00

※申込み取り消しの受付は 2011 年 7 月 25 日(月)15:00 まで

Foundation Level の試験受付が始まっています。

試験を行う時間がいままでと違うようなので注意ですな。

【資格】JSTQB 認定テスト技術者資格試験 第 1 回 Advanced Level 試験

まもなく、受験受付開始ですっ

<http://www.juse.or.jp/software/40/>

日時：2011 年 8 月 27 日(土) 10 時 13 時

試験料：21,000 円(税込み)

開催地域：東京(定員 400 名)、大阪(定員 200 名)

申込期間：6 月 15 日(水) 15:00~7 月 4 日(月) 15:00

Advanced Level の第一回が開催されます！

Foundation Level と同じ日に開催されますが、Advanced Level を受験するには、Foundation Level の資格を持っている必要があるのです、同時に受験するのはムリです。

受験の受付期間が Foundation Level と異なるので注意ですな。

【イベント】JaSST' 11 Shikoku

JaSST を、四国から。

<http://jasst.jp/archives/jasst11t.html>

日時：2011 年 7 月 19 日(火) 13 時~18 時

場所：〒760-8521 香川県高松市幸町 1 番 1 号、香川大学研究交流棟 5 階 (香川大学教育学部キャンパス内)

参加申込締切り：2011 年 7 月 12 日(火)

参加費：2,100 円(税込)

情報交換会：4,000 円程度

講演は、NTT データの町田欣史氏による「現場ですぐに使えるソフトウェアツール」

そして、ワークショップとして、富士ゼロックスの秋山浩一氏による「実践！同値分割と境界値分析とドメイン分析」です。

【イベント】JaSST' 11 Kansai

JaSST を、関西から。

<http://www.jasst.jp/archives/jasst11w.html>

日時：2011 年 7 月 22 日(金) 10 時~17 時 40 分 (情報交換会は 18 時~19 時 30 分)

場所：クリエイターズプラザ (大阪府 東大阪市)

参加申込締切り：2011 年 7 月 12 日(火)

参加費：2,100 円(税込)

交流会参加費：4,000 円程度

基調講演は、オムロンソーシャルソリューションズの幡山五郎氏による「止まらない・間違えない・防げない自動改札機の開発」です。

まだ、Web サイト上では申込みページは準備中のようです。

さて、今年の JaSST ですが、各 JaSST への参加特典のほかに、「JaSST を通じて」の特典があるようですね。

日経 BP 社から、今年開催される JaSST を通じて、「日経コンピュータ」「日経 SYSTEMS」「日経 NETWORK」のいずれかを 1 つを一年間無料購読ができるとのこと。

JaSST のコラボレーションですな〜。

もう 1 つ今年の JaSST についてですが、なんと JaSST' 11 Shikoku と JaSST' 11 Kansai が同じ週に開催されるますな。

(JaSST' 11 Shikoku が火曜日で、JaSST' 11 Kansai が金曜日)

ということで、JaSST 巡りをされる方は、気をつけましょ〜。

このコーナーでは、書籍やイベントの情報を募集しています。

例えば、「来月勉強会とか OFF 会とか開催するんだけど掲載してくれない？」といったものでも OK です。

開催地も、日本全国津々浦々、どこでもかまいません。

情報をお待ちしております m(_ _)m

池田 暁の

ミュージカルに恋して。

[第三十幕] SS2011 in 長崎 に行ってきました！

♪ WACATE2011 夏 も直前ですね！

これを書いているのは6月に入ってからです。5月は連休明けからかなりバタバタしており、この原稿の執筆に取りかかるのが遅くなってしまいました。忙しい忙しいといっている、それは調整力が不足していることを露呈しているようなもので、書きながら反省しているところです。(ー)

さて、気がつけばこの記事が掲載される号が公開されるのはWACATE2011 夏の開催2週間ほど前ということになります。参加申し込み済みの方はしっかりと予習に取り組んでください。予習すれば**するほど当日は深く議論ができるので有益になります。**WACATEは研修会ではなく勉強会ですので、それを意識してどうぞ準備を進めてください。(ー)

♪ SS2011 in 長崎

さて、先ほど5月は忙しかったという話をしましたが、その理由の一つは「SS2011 in 長崎 (ソフトウェア・シンポジウム 2011 in 長崎)」の参加準備でした。

SS2011にはプログラム委員として当日はテストWGのリーダーとして取りまとめを担当させていただきました。当日のWGは総勢16名となり二日間にあたり活発に議論が行われました。

また、TDD研究会(池田 暁、井芹 洋輝、太田 健一郎、共著)名義で事例報告「テストの視点を活用したTDDアプローチの検討とその検証」と題した発表を行って来ました(当日の発表は太田さん)。今年1月に開催されたJaSST' 11 Tokyoにて「TDDライブ」という企画セッションを行いました。その中で得られたコメントやフィードバックを検討し、実証実験を行ったものをまとめたものです。発表の様子はUstreamでも放送されていたので、ご覧になった方もいらっしゃるかもしれません。発表資料などは**ポストプロシーディングとして資料が公開されるそうです**ので、ご興味のある方は参照してみてくださいね。

☆ソフトウェア・シンポジウム 2011 in 長崎
<http://sea.jp/ss2011/>

このSS2011ですが、実はひとつ動機付けがありました。それは地元への貢献です。自分を育ててくれた地域への貢献というものは、やろうと思ってもなかなか難しいものです。今回長崎のIT技術の発展のために、直接的でないしろスタッフという立場で少しは貢献できたのが嬉しいです。個人的には

勉強会やイベントといったものは社会貢献視点が無いとダメだと思っているので、そういう意味でも価値ある活動ができてよかったです。

* * *

♪ レ・ミゼラブル 2011 @ 帝国劇場

3回目の観劇です。この回はスペシャルキャストの回です。オリジナルキャストが多数出演ということでとても楽しみにしていました。個人的には大ファンである島田歌穂さんのエポニーヌが楽しみでした。on my own もすごく良かったのですが、何よりも演技が流石。あの歳でエポを演じられるのはほんとうに凄いなあと思いました。その他、岡さんのかっこよさに痺れたり**この回はすっかりミーハーに。**どの方も安定感がハンパなく、とても安心して観劇することができて大満足でした。

* * *

♪ 井上ひさしに捧ぐ @ オーチャードホール

故井上ひさしさんを偲ぶコンサート。組曲虐殺などで曲を担当した小曾根真さんの呼びかけでオーチャードホールにて開催されました。曲は主に組曲虐殺と日本のへそから。一部は歌物を中心に、二部はフルオーケストラという構成(本当の意味でフルオーケストラで豪華でした)。一部は曲が随分アレンジされていましたが、組曲虐殺の曲が聴けて嬉しかったです。日本のへそからの曲では会場にお客さんとして来ていたアンサンブルを舞台上に上げ、一緒に歌うというサプライズ(?)がありました。お友達の今泉由香ちゃんもいました。休憩時間に急ぎ客席を探して少しだけ立ち話できました。偶然でもないけれど、示し合わせたわけではなかったので驚くも嬉しいという印象深いコンサートになりました。

最後、井上先生の写真が舞台上に映し出されましたが、場内はしんみり。沢山の方から愛されていたのを、改めて感じたのでした。

* * *

♪ 終わりに

6月はちょっと小休止しかもしれません。でも、風を結んで@シアタークリエとか観に行きたいなあと考え中です。<終>

WACATE-Blog 出張所

■実行委員会も大詰め！

WACATE 2011 夏！6月某日(笑)、実行委員会を実施しています！



過去のセッションを見たりなど、リハをしたりなど、準備に余念がありません。



これも全て、自分達が思い切り楽しみ、参加者の皆さんに楽しんでいただくために！

こういった日々が自身を成長させていくのです。

メインの話、他のセッションの話、どういう議論がしたいのか、それはどうしたら生まれるのか。このセッションで、何を伝えたいのか。

そういったことを本気で考えて取り組んでおります！



もう多くは語りません！
当日を楽しみにしてください！

■興味のあるひと募集中。

WACATE 実行委員会では常に新しい風を入れるべく、WACATE、または WACATE 実行委員会に興味を持った方を募集しております！
気になった方は是非、magazine@wacate.jpなどにご連絡をいただければ幸いです。

■次の WACATE に向けての近況

現在の次の WACATE に向けての活動は以下です。

◆実行委員会ネタ

- ・ オンラインでも実行委員会やってるよ！
- ・ WACATE 2011 夏セッションを鋭意作成中！
- ・ リハーサルとか！
- ・ ホテルとの調整！
- ・ 印刷屋さんとの調整！
- ・ 講師陣との調整中！
- ・ ゲストとの調整中！

◆WACATE ネット

- ・ WACATE 2011 夏前夜祭、受付中！
<http://kokucheese.com/event/index/11938>

◆その他活動ネタ

- ・ とくになし！

…とこんなカンジです！

WACATE 2011 夏をめいっぱい楽しみましょう！！

書いた人：コヤマン

今月のSTAR★

全国のスター☆ファンの皆様、お待たせいたしました！「今月のSTAR☆」です！！
あまり語っても仕方がないので、スター☆の雄姿を写真でお届けします！

■悟りを開いておられます！！

実行委員会をやるとスター☆は大忙し。…あれ？



なるほど、一見寝転がっているように見えますが…これは”涅槃”ですね。
悟りを開いて神の域に達したいワケです。
委員会中に涅槃とは……さすがです。
スター☆ニルヴァーナ！！(謎)

■黄昏れておられます！！

そしてその後は、外界を見て黄昏れておられます。



今日も、テストエンジニア達はそれぞれに頑張っている、ということを通して感じるスター☆

サッシにかけた手は、きっと読者の皆さんの肩にやさしくかけられる手…



なんと神々しい。



そして、最後に WACATE 2011 夏の成功を祈り、キットカットを男らしく齧るスター☆

「きっと、勝つ！」
…そう心に秘めてスター☆は齧ります。
そう、ガジガジと。
WACATE 2011 夏もこれで安泰ですネ。

書いた人：コヤマン

❁お知らせ❁

6月30日(木)にWACATE-Magazine vol.31 発行します!(たぶん)

今回は「WACATE 2011 夏レポート!」をお送りする予定です★

来たれ! 投稿戦士!

WACATE-Magazine では“ソフトウェアテストや品質に関する記事”を常に募集中です。
来たれ! 投・稿・戦・士!!!

WACATE-Magazine はボランティアベースで発行されています。したがって原稿料は出ません。※ノーギャラです。
投稿いただいた原稿の掲載可否、掲載時期については編集部で決定させていただきます。
特定の商用ツールやサポートなど営利色が強い原稿は原則として掲載いたしません。
レイアウトなどは全て編集部で行います。また、特に戻り確認などを行いません。
単なる論文は掲載しません。紙面の雰囲気を読んだ、イイ感じな文体や内容でお願いします。
公序良俗に反すると思われるものについても掲載しません。

以上を了解した上で、覚悟完了! の方はWACATE-Magazine 編集部「magazine@wacate.jp」まで、是非ご連絡ください。
折り返し、担当より要綱をご連絡いたします。
楽しい、そして役に立つ紙面にするため、是非ご協力いただければ幸いです♪

☆その他、WACATE-Magazine では以下の情報をお待ちしています☆

- 書籍情報(オススメ書籍情報も可)
 - イベント情報(ソフトウェア/品質/テスト関連)
 - 勉強会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連ならなんでも)
 - オフ会情報(ソフトウェア/品質/テスト関連)
 - デザート情報(甘いものならなんでも。イカス! やつで。)
- などなど、お待ちしております♪



編集後記

★★★ WACATE 実行委員募集中 ★★★

いいんちょ★梅雨に負けず、頑張ってください!!
きたー★6月と12月といえば、ボーナスとWACATEですよ、奥さん!
よえだ★WACATEの前の週にてすばながあるよあ!!
コヤマン★もう!あと!もうちょい!!!!夏がアーーーーーくるウウウウッ
ぼんぼん★ついに6月ですわ☆いろいろ頑張ります^^;三浦で会いましょあ!!
あらかみ★もうすぐWACATEです。皆さん、準備(予習)は如何ですか?
盛り上げて参りましょ!!

★あくづけ★
2011/06/11(sat)はっころ
WACATE-Magazine へんしゅろ
✉Magazine@wacate.jp
<http://wacate.jp/Magazine/>